

第7回 農業と環境の持続可能性に関する研究会

食料主権の源流としての2つの思想:アメリカの民主主義とブエン・ビビール

講師:北野 収氏(獨協大学外国語交流文化学科)

話題提供として、これまで手掛けてきた著訳書のなかから、北米関連として『シビック・アグリカルチャー』(トーマス・ライソン)を、ラテンアメリカ関連として『南部メキシコの内発的発展とNGO』『貧しい人々のマニフェスト』(フランツ・ヴァンデルホフ)、『開発との遭遇(仮)』(アルトゥーロ・エスコバル)を取り上げます。アメリカの民主主義流れを汲むシビック・アグリカルチャーの考え、先住民族の世界観にもとづくブエン・ビビール(善く生きる)の考えを概観し、一見、まったく異なる南北の世界観が食料主権論の土台にあることをどのように理解すべきか、みなさんと一緒に考えます。

日時:2018年11月17日(土) 18:30~21:00

場所:アジア太平洋資料センター(PARC)2F 教室

http://www.parc-jp.org/guidance/guidance_04.html

資料代:500円

申込み:日本有機農業学会事務局(yuki_gakkai@yuki-gakkai.com)まで

「第7回持続研究会への参加」の旨をメールにて事前予約してください。

当日参加も大歓迎です。